

西日本の激しい降雨による川の氾濫や土砂崩れで多くの方が亡くなり行方不明になりました。新聞に終戦時の枕崎台風の惨状とそっくりだと当時を知っている方のコメントが載っていました。実は私はその枕崎台風とともに韓国(当時朝鮮)から日本に帰ってきたのです。戦争が終わったといっても私たちは不安でした。私は当時16歳、「とにかく早く日本へ帰りたい」という気持ちでいっぱいでした。その時、私は選ばれて部隊長当番でしたが、部隊長は満州のハルピンに出張中でした。副官から誰か日本名をローマ字に直すものはいないかと聞かれ、「私ができます」と答えました。「それは都合がいい。部隊長はしばらく帰れないから手伝ってくれ」と言われ、その日から部隊を司る指揮班に入りました。副官は外語大の英文科出身、そしてもう一人は年配ながら私より階級が下のコロンビア大学卒業生がたまたま部隊にいたので編成が三人となり役目は武装解除など占領軍との接衝でした。小さいときから外国人のこともと遊んでいた私は他の同僚と違って違和感はないのが幸いでした。私の任務は部隊全員の名簿をローマ字で書きアメリカ軍に提出することでした。宙543航空隊と言うのが部隊名ですが、一世を風靡した有名なジャイアンの青田 昇選手や後で知ったのですが、選手であり、サッカーライターで有名な賀川 浩さんもいました。私たちはすっかり打ち解けたアメリカの将校に名簿と武器を引き渡し、グッドラックと握手して10月10日に大田(テジョン)の飛行場を出発しました。情報ですとその日激しい風雨の台風が本土と朝鮮海峡を襲うので復員船は出ないかもしれないと言われたのですが、とりあえず釜山に向かいました。復員は一日も待てないと激しい雨と風の中出港しました。あの大きな船が木の葉のように揺れ、押し戻されながらも博多の海岸に茂る松林を見てほっとしました。山陽本線に乗り15時間で横浜と考えながらとうとうとっていると電車は崖崩れの土砂に乗り上げて脱線。この先の鉄橋が落ちて回復見込みたらずと言うのです。柳井という駅まで歩き、下関へ戻り山陰本線に乗りました。車窓から見る河は氾濫し家まで浮いていました。程なく小串駅のところでもやはり鉄橋が落ち、回復見込みなしというのです。若い人は3mの綱渡りで河を越えれば福知山行きの貨物に乗れると言うので、調査のお手伝いで渡りました。越えたところで村人が握ってくれたおにぎりを2つ頂きました。調査の話ではこれは難破船にあったもので警察に保存し、味はわからないが村の人の気持ちだといっていました。私はこの親切に感激して泣きながら食べました。貨物電車がこないで駅で野宿し、翌々日来た石炭の無蓋貨車で名古屋まで行き、博多を出て桜木町へ着いたのに8日間かかりました。最後の2日間は食料がなく、調達もできず水のみでしたので顔も膨れ上がり足も動かず、空襲で焼かれた我が家に着いたのですが気力もなく動けなくなりそのまま寝てしまったのです。「春」と呼ばれて目を覚ましたら、泣いている父親がそこにいました。「よく帰ってきたな。みんな元気で千代崎町にいるといわれ父の自転車で荷物を移し歩きました。みんな元気「おおい兄ちゃんが帰ってきたぞ」というと妹と弟と母が出てきて皆で泣きま



上右 横浜市民こどもミュージカル「忍SHINOBI〜ヒーローになりたい君へ〜」
上左 定演:赤い靴ジュニアコーラス青隊&あかいくつテンダーフット



した。石炭用の無蓋貨物で帰ってきたので顔も服もすすけて黒く、庭のドラム缶風呂でさっぱりしました。私も70数年前の被害者であったわけですが、母から聞いたのですが、父は毎日桜木町と旧自宅に行って帰りを待っていたそうです。

そして、7月15日(日)第31期赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会がありました。一年間の集大成を皆存分に発揮してくれました。短時間に数々の新曲をマスターして人に聞かせる先生方のご指導と団員のやる気が相まって多くの聴衆の方に感動を与えましたね。早く赤隊になりたいと出席表に書いた子も念願叶ったね。赤隊になってこどもはとでもうれしそうとお話していたお母さんもいて、こどもって素敵なところに出演する毎に成長するのだと思います。定期公演でテンダーフットのひたむきに歌う横顔を見てみると微笑ましく、出演の機会を見つけたいと思います。先輩たちも音学の道に行ったり、別の社会に入ってもトップを走りながら歌はつづけている人も多いと聞きます。

さて、今年神奈川県文化課のマグカル地劇コンペで最優秀賞に輝いた「横浜市民こどもミュージカル」が県の希望に沿って「記念公演」を新横浜の「ラポール」で行いました。関内ホールが改修中なので場所を変えたのですが流れは大変に好評でした。「忍 SHINOBI〜ヒーローになりたい君へ〜」の公演は障害者文化スポーツセンターですので、聴覚障害の方のために「字幕スパー」を作り招待もしました。38名の出演者はそれぞれ役を理解し自分を全部出し切ってお芝居を作っていました。忍者というテーマは非常に奥が深く、闘争心と仕える殿様への忠誠心だけではなく、私生活を通じて瞬発力、思考力からアフターケアまで完璧でないと務まらない人物像が要求されます。私はこどもの頃は好奇心で忍者が好きでしたが、未だに忍者の世界には興味を持っています。今回の成功は人受けする娯楽性と心打つ親子愛が相まって笑いと涙をころよく入れた素晴らしい作品だと思います。今回は12号の台風を心配しました。28日の一回公演は風雨の影響を受けながらも70%の方々が、翌日は満席の中で終えることができました。感謝いたします。 2018.7.31 団長 松永 春



定演: 赤い靴ジュニアコーラス赤隊 I II III

今後のスケジュール

8/24(金)	杉田劇場全館
杉劇祭り 2018	
赤い靴ジュニアコーラス・ATF	
出演・10:00~15:00	
10/7(日)	ハローよこはま
日本大通り、象の鼻 詳細後日	
赤い靴ジュニアコーラス	
赤い靴テンダーフット 詳細後日	
10/21(日)	赤レンガ倉庫特設会場
東京湾大感謝祭 詳細後日	
ミュージカルキッズ	
12/8(日)	磯子音楽祭
赤い靴ジュニアコーラス	
杉田劇場 詳細後日	
12/23(日)・24(祝)	クリスマス キャロル
インターコンチネンタル ホテル	
赤い靴ジュニアコーラス	